

地球温暖化に関する事業所アンケート

ご協力のお願い

日ごろから、市政について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、広島市では、地球温暖化に関する事業所の皆様のお考えや取組状況などをお聞きし、今年度予定している新たな「地球温暖化対策地域推進計画」の策定や、今後の施策の実施にあたっての参考とするため、「地球温暖化に関する事業所アンケート」を実施することにしました。

ご多忙のところ、誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、市内の事業所の中から500社に回答をお願いするものです。調査には無記名でお答えいただき、回答結果は統計的に処理いたします。また、調査結果がまとまり次第、広島市ホームページ (<http://www.city.hiroshima.lg.jp/>) で公表いたします。

平成 28 年 (2016 年) 4 月

広島市長 松 井 一 實

記入についてのお願い

- 1 回答に当たっては、問いの指示に従って**調査票に直接ご記入ください。**
ご記入は、鉛筆、ボールペン、万年筆のいずれでも結構です。
- 2 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**平成 28 年 (2016 年) 5 月 16 日 (月) までに郵便ポストへご投函ください。**
- 3 この調査についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号

広島市環境局温暖化対策課 担当：村上、谷口

電 話 (082) 504-2185 (直通)

電子メール ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

地球温暖化について

近年、世界的に気温は上昇しており、国連の専門機関が公表した報告書においては、科学的知見から、地球温暖化は疑う余地がないとされています。また、地球温暖化の原因である温室効果ガスを、何の対策もせずに、今後も排出し続けると、後戻りできない影響が生じる可能性が高いと予測されています。

こうした中で、昨年 12 月にパリで開催された気候変動について国際的な枠組みを話し合うための国際会議（COP21）では、全ての国が、温室効果ガス排出量を大幅に削減し、世界の平均気温の上昇を 2℃未満に抑えること等に取り組むことが決まりました。会議の開催地の名称を取って、「パリ協定」と呼ばれています。

問 8 地球温暖化への対応は差し迫った問題であると思いますか。当てはまるものを一つ選び、番号に○を付けてください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまり思わない | 4. そうは思わない |
| 5. わからない | | | |

問 9 COP21 に先立ち、我が国は、温室効果ガス排出量を 2030 年度までに 2013 年度と比べて 26%削減するという目標を掲げました。

そのことを知っていますか。当てはまるものを一つ選び、番号に○を付けてください。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 少しは知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、あまり知らない | 4. 全く知らない |
| 5. わからない | |

問 10 貴事業所は、地球温暖化などの環境問題に関する知識や情報をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「8. その他」と回答された事業所は、() に具体的な入手方法をご記入ください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 家族や友人・知人 | 2. 新聞、雑誌、書籍 |
| 3. テレビやラジオ | 4. インターネット |
| 5. 広島市の広報紙やホームページ | 6. 研究会や講演会 |
| 7. 広島市が行うイベントやセミナー | 8. その他 () |

地球温暖化防止の取組について

地球温暖化防止には、温室効果ガスの削減が欠かせませんが、温室効果ガスの多くは二酸化炭素であり、そのほとんどは、市民生活、事業活動等になくはならない電力等のエネルギーを創るのに必要な化石燃料の燃焼によるものです。

そのため、電力等のエネルギー使用量を削減することは、地球温暖化防止につながります。

問 11 広島市は、市域からの温室効果ガス排出量を、平成 2 年度比で 6%削減することを目標としていましたが、直近の温室効果ガス排出量である平成 25 年度は全体で約 2%増加しています。増加の主な要因は、業務床面積の増加、OA機器の多様化などによって、オフィス・店舗等の業務部門からの排出量が約 38%増加したことなどです。

そのことを知っていますか。当てはまるものを一つ選び、番号に○を付けてください。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 少しは知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、あまり知らない | 4. 全く知らない |
| 5. わからない | |

問 12 貴事業所での、省エネ行動や節電などの取組についてお尋ねします。

(1) 日常業務において、省エネルギーの取組を実践していますか。以下の取組のうち、当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「18. その他」と回答された事業所は、() に具体的な取組内容をご記入ください。

【省エネ対策を推進するための体制・仕組みづくり】	
1. 統括的なエネルギー管理体制の整備と責任者の配置を行う 2. エネルギー使用量、設備の運転時間等の計測、記録を行う 3. 取組状況の確認、評価、改善を行う	
【運用対策による省エネ】	
空調設備等	4. 事務室等の室温を冷房時 28℃、暖房時 20℃に維持する 5. 空調区画を細分化し、空調が不要な区画は停止する 6. 冷暖房時における外気導入量を適切に管理する 7. 中間期には熱源の停止や外気冷房を行う 8. 空調機器のフィルターや熱交換器を定期的に清掃、交換等する 9. 換気ファンを間欠運転する 10. 熱源の燃焼設備の空気比を調整する
照明設備	11. 照明区分を細分化し、照明が不要な区画は消灯する 12. 休憩時間などの執務時間外には消灯または減灯する
【設備対策による省エネ】	
空調設備等	13. ポンプ・ファン類等にインバータを設置して最適に制御する 14. エネルギー消費効率の高い（高効率）空調設備を使用する 15. 熱源水に太陽熱、地中熱、排熱等を利用する 16. 全熱交換器による排気の熱を回収する
照明設備	17. 高効率照明器具（LED照明）を使用する
18. その他 ()	
19. 取り組んでいない	

(2) 貴事業所が省エネルギーに取り組んでいる理由は何ですか。当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「6. その他」と回答された事業所は、() に具体的な理由をご記入ください。

1. 企業の社会的責任であり、地球温暖化問題の重要性を感じているため 2. 企業や製品、商品のイメージアップや新しいビジネスチャンスが期待できるため 3. 省エネルギーや資源のリサイクルによりコスト削減につながるため 4. 事業所の周辺住民との良好な関係を維持するため 5. 会社や業界などで良好な環境保全のための独自の基準等を設けているため 6. その他 () 7. 当事業所では、特に地球温暖化防止には取り組んでいない
--

(3) 省エネルギーの取組の実践にあたって、問題となっていることは何ですか。以下の項目のうち、当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「8. その他」と回答された事業所は、() に具体的な問題をご記入ください。

1. 資金の不足 2. 人材の不足 3. ノウハウの不足 4. 手間や時間がかかる	5. 省エネルギー対策に関する情報の不足 6. 取引先や消費者の協力が得られない 7. 事業所内での意思統一を図るのが難しい 8. その他 ()
--	--

問 13 ISO14001やエコアクション21等の環境マネジメントシステムは、事業所において、環境に関する目標や方針を定め、これらの達成に向けてPDCAサイクルを通じて取り組むことで、効果的、効率的に環境に取り組むことができます。

そこで、貴事業所の環境マネジメントシステムの取組についてお尋ねします。

(1) 貴事業所では、環境マネジメントシステムを導入していますか。以下の項目のうち、当てはまるものを一つ選び、番号に○を付けてください。「6. その他」と回答された事業所は、()に具体的な名称をご記入ください。

1. ISO14001	5. 事業所独自の環境マネジメントシステム
2. エコアクション21	6. その他 ()
3. KES	7. 導入を検討中である
4. LAS-E	8. 導入していない

(2) (1)で「7. 導入を検討中である」又は「8. 導入していない」と回答された事業所にお伺いします。その理由として、どのようなものが挙げられますか。当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「6. その他」と回答された事業所は、()に具体的な理由をご記入ください。

1. 資金の不足	4. 手間や時間がかかる
2. 人材の不足	5. 事業所内での意思統一を図るのが難しい
3. ノウハウの不足	6. その他 ()

問 14 省エネルギー診断は、省エネに関する専門家が、事業所でのエネルギー使用量やエネルギー消費機器、機器ごとの使用傾向などを調査・分析した上で、分析結果に基づく具体的な省エネルギー手法や、エネルギー使用量の削減効果などを提案するものであるため、大規模投資をせずにエネルギー消費量を効果的に削減できる方法です。

貴事業所の省エネルギー診断の受診状況についてお尋ねします。

(1) 貴事業所では、省エネルギー診断を過去に受診したことはありますか。当てはまるものを一つ選び、番号に○を付けてください。

1. 受診したことがある	2. 受診を検討中である	3. 受診したことがない
--------------	--------------	--------------

(2) (1)で「3. 受診したことがない」と回答された事業所にお伺いします。

その理由として、どのようなものが挙げられますか。当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「7. その他」と回答された事業所は、()に具体的な理由をご記入ください。

1. どこに依頼すればよいか知らない	4. 手間がかかる
2. 時間がない	5. お金がかかる
3. 必要と思わない	6. 効果がない
7. その他 ()	

(3) (一財)省エネルギーセンターでは、中小企業等を対象とした無料の省エネ診断を実施していますが、知っていますか。当てはまるものを一つ選び、番号に○を付けてください。

1. 知っているし、過去に受診したことがある	3. 知っているが、対象事業所ではない
2. 知っており、今後受診したい	4. 初めて聞いた (受診していない)

問17 貴事業所が今後、地球温暖化防止のための取組を進める上で、行政にどのような支援を期待しますか。当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「6. その他」と回答された事業所は、()に具体的な支援をご記入ください。

1. 資金面での支援
2. 人材の紹介や派遣、ノウハウの提供
3. 地球温暖化に関する情報の収集、提供
4. 地球温暖化防止に取り組むための事業者向け情報指針、ガイドラインの作成
5. 地球温暖化防止のための取組に関する相談窓口の設置
6. その他 ()
7. 特に期待することはない

問18 地球温暖化防止の取組として、行政に特に期待していることについて、以下の項目のうち、当てはまるものを三つまで選び、番号に○を付けてください。「15. その他」と回答された事業所は、()に具体的にご記入ください。

1. 最新の省エネ技術を用いた家電や設備の導入促進
2. 省エネ性能が高い住宅や建物の整備促進
3. 再生可能エネルギーや水素エネルギーなどの新たなエネルギーの導入促進
4. 電気自動車などの次世代自動車の普及促進
5. 身近なところに学校や病院、商店街等が集まっているコンパクトでエネルギー消費が少ないまちづくりの推進
6. 環境への負荷の少ない公共交通や徒歩・自転車などの利用促進
7. 二酸化炭素を吸収する森林の育成・保全や都市緑化の推進
8. ごみの減量・リサイクルの推進
9. クールビズやウォームビズといった国民運動の推進
10. サマータイムや時間差勤務の導入
11. 環境教育・環境学習の充実
12. 環境保全のために活動している市民団体等への支援
13. 事業者への情報提供の充実
14. 市役所自身の地球温暖化対策（庁舎の省エネルギー化、太陽光発電の導入、公用車への電気自動車などの次世代自動車の導入等）の推進
15. その他 ()

地球温暖化の影響への対応について

問19 日常業務の中でどのような地球温暖化の影響を感じますか。当てはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。「7. その他」と回答された事業所は、()に具体的な影響をご記入ください。

1. 猛暑日の増加
2. 季節感の喪失による季節物の売り上げ低下
3. 短時間強雨や大雨、高潮といった自然災害の増加
4. 熱中症等の健康被害の増加
5. お米やみかんなど、農作物の収穫量や品質の低下
6. スキーや海岸部でのレジャー産業への影響
7. その他 ()
8. 影響を感じない

問 20 地球温暖化の影響により日常業務に支障が出ていることがあれば、下記に具体的にご記入ください。

- 例：
- ・取引先のある外国が地球温暖化の影響を受けており、輸入品の価格が上昇した。
 - ・取引先から、環境への負荷の少ない製品にするよう求められ、設備を更新した。

その他

その他、ご意見、ご希望がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました